

令和4年3月16日

保護者様

松戸市立河原塚小学校
校長 岡島 八千代

令和3年度 学校評価のまとめ

萌芽の候 保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、本校の学校教育にご理解とご協力を頂き心から感謝申し上げます。

さて、3月10日（木）に学校評議員会（学校関係者による）を持ち、本年度の学校評価のまとめができましたので、下記の通り報告させていただきます。保護者の皆様におかれましては、アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

記

1. 学校評価の方法

- | | |
|--------------|--|
| ① 保護者アンケート | 保護者の皆様に教育活動について評価して頂くものです。 |
| ② 教職員による自己評価 | 教職員が本校の教育活動について評価するものです。 |
| ③ 学校関係者評価 | 学校に関係のある方々に自己評価の結果や今後の改善方策等について評価して頂くものです。今年度は諸般の事情により、学校評議員とPTA会長にお願い致しました。 |

2. 学校評価の結果

(1) 保護者アンケートについて

A: そう思う 2点	B: 大体そう思う 1点	C: あまりそう思わない -1点	D: そう思わない -2点
E: わからない 0点			

- 評価が高かった項目（「A: そう思う B: 大体そう思う」の回答の割合が相対的に高かった項目）
 - ・ NO. 11 『ご自分のお子さんは、友達と仲良く生活していると思いますか。』・・・92%
 - ・ NO. 13 『学校はあいさつ等、基本的な生活習慣の指導に努めていると思いますか。』・・・92%
 - ・ NO. 17 『学校は、健康管理や体力づくりに努めていると思いますか。』・・・92%
 - ・ NO. 18 『学校は、保護者・地域に必要な情報を積極的に知らせていますか。』・・・89%
- 評価が低かった項目（「A: そう思う B: 大体そう思う」の回答の割合が全体の80%未満の項目）
 - ・ NO. 7 『学校は子ども達に夢や目標を持たせるよう努めていると思いますか。』・・・79%
 - ・ NO. 8 『学校行事は、子どもにとって楽しく充実していると思いますか。』・・・66%
 - ・ NO. 9 『学校は自分の考えをしっかりと持ち、
わかりやすく伝えられる子どもに育てようと努めていますか。』・・・75%
 - ・ NO. 20 『学校の教育活動の様子がよくわかりますか。』・・・72%

- ※ 評価の高かった項目に関しては、今後も継続、向上していけるよう職員一同で努めていきます。また、全ての項目で「A:そう思う B:大体そう思う」の回答の割合が90%以上になるよう、足りなかった部分について検討をし、改善を進めていきます。
- ※ 評価の低かった項目に関しては『学校行事は、子どもにとって楽しく充実していると思いますか。』が66%となりました。昨年度に引き続き、緊急事態宣言やまん延防止重点措置の発令等により学校の活動に制限がかかる中で、市のガイドラインの規定に沿う形での活動になりました。次年度につきましては、今年度の実施方法や規模、各行事への評価等を検証した上で、状況に合わせてより柔軟に対応できる取組や工夫を考えてまいります。
- ※ 同じ項目の中で、評価が分かれるものもありました。賛否両論ある項目については、児童の成長にとってねらいと内容が合っているのか、頻度や回数、開催方法が適切でかつ持続可能なものになっているのか、といった点も検討し、社会の変化に合わせて検討して参ります。

(2) 学校関係者評価について

＜学校関係者評価のねらい＞

- ・学校が行った自己評価を、保護者・地域住民の学校関係者などにより構成された評議員会にて協議いただき、自己評価の客観性や透明性を高める。
- ・評価活動を通じたコミュニケーションにより、保護者・地域住民の方々と学校が互いに理解を深める場とする。

※今回の学校関係者による評価の話し合いにおいて、以下のようなご意見をいただきました。

- ・今年度も引き続きコロナ禍の中での学校生活となったが、このような状況になって、改めて学校とはいろいろな人（地域・保護者・子供）を結びつける場所であることを強く感じている。
- ・あいさつ指導は、学校の取組とともに、地域や保護者からも積極的に子供たちに声をかけるなど、大人側の積極的なアプローチも大切である。
- ・子供たちの見守り活動においては、地域・保護者と協働して行うことが安全面の向上につながる。学校・地域・保護者が子供たちのためにできることを考えて主体的に実践できるようになるとよい。

3. まとめ

現在、本年度の学校評価の結果に基づき、次年度に向けての改善方策や取り組みの重点等について検討・協議を行っています。12月以降、オミクロン株の感染拡大により、まん延防止重点措置が取られたり、2月に入ってからには特に児童への感染が拡大し、学級閉鎖が度々実施される状況になったりと、学校内での児童の活動のみならず、PTA活動、地域連携活動、外部人材活用等、様々な面で制限があり、コロナ禍前の活動は非常に難しくなりました。次年度につきましては、感染状況を睨みながらになりますが、教育課程の適切な編成を行い、基礎学力の向上をさらに推進するとともに、コロナ禍における児童の「心の教育」や「健康な体作り」にも引き続き取り組み、『知・徳・体』のバランスのとれた児童の育成のために尽力していきます。

また、本校の教育活動にご理解・ご協力いただけるよう、よりわかりやすい情報発信について検討・実施をし、保護者・地域との連携、協働体制のさらなる充実を努めます。あわせて、アンケートにご指摘がありました施設面の修繕や充実においては、トイレ改修工事の実施が決まるなど、市教育委員会との連携を図りながら学校環境の改善に取り組んでいます。他の点につきましても、早期解決ができるよう、働きかけを続けていきます。

次年度も、「社会に開かれた教育課程の実践」の基本理念の下、保護者や地域の皆様と連携を深める方法を考え、実践しながら、子どもたちを育てていきたいと考えております。教職員一同、一丸となって令和4年度学校教育の更なる充実を図って参ります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。